尼崎市立大成中学校　学校だより
令和元年(2019)年　2学期号
http://cen-web/school/j09/
～かぜをつむぐ～

風を紡ぐ

大成中の取組

夏休みから2学期、様々な取組を行いました。

１年生

夏休み中、「家庭教師のトライ」による、中1夏季勉強会。20名が参加。英・数を基礎固め。

「独自国語補習」25時間実施。これも基礎固め。

1月10日(木)の尼っ子ステップアップ調査で、成果を発揮してください。

２年生

『尼っ子健診』実施。受診率は、昨年度の3倍、31.9%。昨年度から、全体を通じて言えることは、「食べるもの飲むものについて、健康を意識して欲しい」。甘い物の飲み過ぎ食べ過ぎ、運動不足、睡眠不足は、改善していこう。

３年生

放課後学習、年間を通して、鋭意実施中。熱心に学習しています。勉強一筋の3年生。トピックは少ないですが、全ての行事の主役です。

KG・尼っ子プロジェクト

関西学院大学経済学部栗田研究室と大成中学校では、独自に Consortium（ｺﾝｿｰｼｱﾑ=共同体）を立ち上げて、大成中の生徒を育みます。

経済学＋数学出張授業

10/31　一年2･4･5組で、大学生による、途上国経済を数式で読み解く授業を実施しました。

KGキャンパスツアー

希望者12名の参加

12/17　全校に呼びかけ、大学探訪を実施。200万冊以上の蔵書を誇る図書館(大成の100倍)やチャペルなど、広大なキャンパスを散策。次回にも期待！！

限界に挑む“努力”？？

◆「やせ我慢」から、「必要のために限界を超えて挑戦する」ことを書きました。(前号･前々号参照)◆我慢したり、限界に挑戦したり、人間は大変です。必要、、、つまり、目標や夢のために、“絶え間ない努力”をしますか？してますか？◆ところが人間の脳の構造は、「努力」できるタイプとできないタイプに分かれます。こう言うと誤解されがちです。◆正確に言うと、『同じことを繰り返して身に付け、向上するタイプ』と『常に改善を試みて合理性を追求するタイプ』の二種類があるといいます。◆漢字や英単語、何度も書けば覚えるというわけではないのです。視る･読む･書くの技術を使えるのですから、自分にとって最も効率の良い、最善の方法を探して選択する必要があります。もちろん、反復練習最適でもOK！この意味が理解できること、実践できることが、2020年以降の大学入試改革に打ち勝つ力なのです。

大成中の現状

4月18日に三年生に実施した、全国学力・学習状況調査について、その結果を、尼崎市と大成中の現状として、お伝えします。

①

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
平成31年度尼崎市	60%	65%	70%	58%	55%
	8.4問	9.1問	7.0問	9.3問	11.5問
	/14問	/14問	/10問	/16問	/21問
平成31年度全国	64%	67%	73%	60%	56%
	8.9問	9.3問	7.3問	9.6問	11.8問
平成31年全国との差	−4	−2	−3	−2	−1

②

		国語										算数･数学									
		A(知識)					B(活用)					A(知識)					B(活用)				
		H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30
小6	尼崎市	70	67	70	72	68	52	63	55	55	51	76	74	77	76	61	55	42	45	43	49
	全　国	73	70	73	75	71	56	65	58	58	55	78	75	78	79	64	58	45	47	46	52
	全国との差	−3	−3	−3	−3	−3	−4	−2	−3	−3	−4	−2	−1	−1	−3	−3	−3	−3	−2	−3	−3
中3	尼崎市	78	75	74	75	75	48	64	63	70	60	65	63	62	64	64	57	39	42	46	45
	全　国	79	76	76	77	76	51	66	67	72	61	67	64	62	65	66	60	42	44	48	47
	全国との差	−1	−1	−2	−2	−1	−3	−2	−4	−2	−1	−2	−1	0	−1	−2	−3	−3	−2	−2	−2

①図は、尼崎市全体の今年の結果です。一段目では、正答率。二段目は正答数。三段目は総問題数です。点数ではなく、内容種別ごとの問題を解けた数で理解度を測ります。

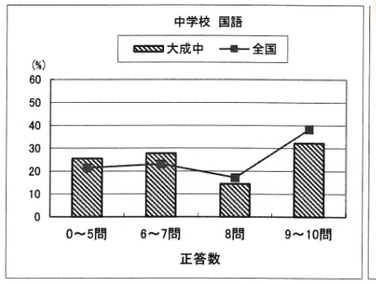
②図は過去5年の推移です。それぞれ下段は、全国との差分になります。全国平均を上回る教科はなく、横ばい状態であることが見て取れます。

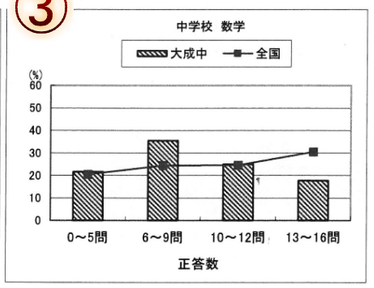
③図は、大成中のの様子である。折れ線が全国の値。縦の棒グラフが大成中。縦軸が人数。横軸が問題数を四等分し集合です。どの教科も左端は、全国との差は重なるように僅かです。しかし、右端の高得点者群では、棒と折れ線との間にずいぶんと距離が開いていることが明白です。

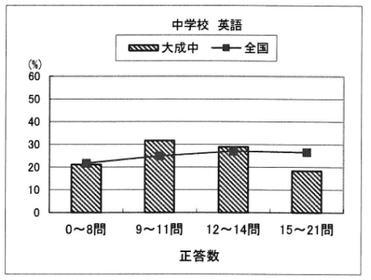
大成中では、高得点者が、全国に比べ10％以上少ないことが、はっきりわかります。

正答数の分布　(横軸:正答数、縦軸:割合)

③

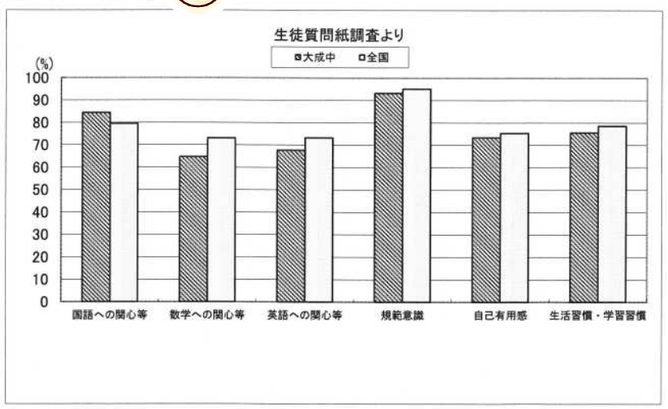






右④図は、生活意識です。全国との差や数値の高い低いを見るのではなく、特徴的な(極端な高低)を見るものです。大成中は、全国中の平均的な中学生であるといえます。一般的には、左三つの教科への意識より、右三つの生活意識が高い方が、テストでも高得点です。

④ 子どもの意識



◆学校閉鎖12/30～1/3　★始業式1/8(水) 通常通り　※インフルエンザ要注意　交通安全・健康第一・全力学習